

事業所名

運動療育で生きる力を育む シエル 町田教室

支援プログラム（放課後等デイサービス・児童発達支援）

作成日

2025 年

1 月

14 日

法人（事業所）理念		お互いの個性を認め合い、尊重する。お互いの立場や障害に寄り添い、そしてお互いに思いやり、支え合う。そんな場と仲間作りを目指す。子どもたちの日々の居場所を、快適で魅力のある場として整えます。子どもたちが安全で安心な一日を過ごせるよう、配慮を怠りません。一人ひとりの発達に対応した時を過ごせるような場面も用意します。集団の中で、皆と仲良く楽しく過ごすひとときを大事にします。一人ひとりの障害や発達に対する知識や理解を深め、資質の向上に努めていきます。家庭でもない、学校でもない、第三の居場所としてのシエルを、子どもたちが喜び、楽しんで通う場にするのが最も大切であると考えます。								
支援方針		1)安全・安心なお預かり 2)運動療育 3)広義の「進路」... 社会で生きていくための力をつける 4)すべての子育て家庭への支援								
営業時間		月曜～金曜	11 時	30 分	から	17 時	30 分	送迎実施の有無	放課後等デイサービス	あり
		土曜・祝日・学校休校日	9 時	30 分	から	16 時	30 分		児童発達支援	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	食事・身辺整理・排泄・着脱・準備・片付け等自立的に行うことが出来るように支援を行います。								
	運動・感覚	運動遊びを通じ様々な運動に取り組む事で楽しみながら身体感覚・運動能力の向上・考える力・集中力を養う為の支援を行います。 運動能力：走る・跳ぶ（縄跳び等）・くぐる・ぶら下がる（鉄棒等）・よける（ボール遊び等）・転がる（マット等）等の実施。 身体感覚：バランス感覚や柔軟性・瞬発力・体幹。								
	認知・行動	静かな活動として比較や分類・位置関係などの認知をシール貼りや点繋ぎ等のプリント、ちぎり絵、マッチング等を通じて養います。 また、絵本の読み聞かせ等を通じて感情概念へのアプローチを行います。 学校の提出課題の把握、時間管理の仕方など取り組みへのサポートも行います。								
	言語コミュニケーション	非言語（身振り／指さし／クレーン／サインジェスチャー／マカトン） 言語（2語文／3語文／名詞／動詞／形容詞／助詞など）児童の発達段階に合わせた関わり方でコミュニケーション能力の向上を行います。 歌や手遊び等音楽を通して言語の発声を行い、イベント等では保護者や外部の方などにお手紙を書くなどして文字の読み・書きを表現する活動も行っています。								
	人間関係社会性	異年齢集団での活動・行動を通じ児童同士でお手本になったり、お手本にしたりお友達や年下児童を助けたり、優しく接する等の機会を通じて人間関係の構築や社会性を身につけます。								
家族支援		健康や情緒、学校生活、家庭でのご様子、困り感など保護者から聞き学校や家庭と情報共有しながら支援を行います。				移行支援		次のライフステージに移行する際に保護者・関係機関との連携を進めながら弊害なく移行出来るよう行います。		
地域支援・地域連携		事前の承諾を得た後に学校・医療機関・他事業所等と連携し、情報共有等を経て個別支援計画の作成・合理的配慮の活用等の環境調整を行います。				職員の質の向上		定期的な研修の実施。 新卒・中途入社研修、虐待防止研修・BCP研修・運動研修・支援サポート勉強会等を行っています。 スタッフミーティングにて支援内容や方法に関する情報を共有します。また、職員の外部研修への参加を奨励します。		